

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：感染症予防費

事業名 リアルタイム感染症サーベイランスシステム運営事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部感染症対策推進課 感染症対策第二係 電話番号：058-272-1111(内3352)

E-mail：c11237@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,450 千円 (前年度予算額： 1,500 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,500	0	0	0	0	0	0	0	1,500
要求額	3,450	0	0	0	0	0	0	0	3,450
決定額	3,450	0	0	0	0	0	0	0	3,450

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

従来のインフルエンザ受診患者数の把握は、国が全国で行う感染症発生動向調査の一環として行われ、国が指定する定点医療機関（県内87医療機関）からの週に1回の報告で、公表まで最大2週間を要する。感染拡大が早いインフルエンザについては、的確な流行状況を把握することに限界がある。また、県内の詳細な地域毎の流行状況も把握することができない。

(2) 事業内容

県内のインフルエンザ及び小児感染症の患者発生状況、各学校の感染症による休業情報について、Web上でデータ収集し、自動的に集計、公表を行う(一社)岐阜県医師会「岐阜県リアルタイム感染症サーベイランスシステム」の運用に対する補助事業。各学校の休業情報は、日本学校保健会が運営する「学校等欠席者・感染症情報システム」とのデータ連携により取得している。令和4年度に同システムの仕様が変更されたため、データ連携を継続するにあたり、「岐阜県リアルタイムサーベイランスシステム」についても、令和5年度に改修を予定している。

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	3,450	システム維持に必要な経費（給与、報償費、サーバー運営費、通信運搬費等）、改修費用
合計	3,450	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県保健医療計画

岐阜県感染症予防計画

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	リアルタイム感染症サーベイランスシステム運営事業費
補助事業者（団体）	一般社団法人岐阜県医師会 (理由) システムを運営しているため。
補助事業の概要	(目的) 県民や医療関係者に感染症の予防啓発を行う。 (内容) 県内のインフルエンザ及び小児感染症の発生状況を把握、集計・分析し、県民や医療関係者に情報提供を行う。
補助率・補助単価等	定率 (内容) 県10/10 (理由) 岐阜県感染症発生動向調査事業に係る患者情報の収集について、本システムを利用しているため。
補助効果	各地域において、医療機関や保健所等の関係者が感染症の流行状況を共有しながら、その状況に応じた医療体制を構築することができる。
終期の設定	終期 令和5年度 (理由) 継続的に実施予定の事業であるが、事業内容の見直し時点として設定。

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

県民が感染症の最新の流行状況を把握し、感染防止対策を行うために有用な情報発信を行う。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H21年度末)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標	
					(R)	達成率
① 正確で迅速な 情報発信	50%	100%	100%	100%	100%	100%

補助金交付実績 (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度
	1,500	1,500	1,500

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	インフルエンザ流行期において、県内約300医療機関のインフルエンザ受診患者数、県内すべての学校の休業状況を把握し、地図、グラフ等を用い、地域別の発生状況の詳細を毎日、ホームページ上に公表した。 指標① 目標： 100 実績：100 達成率：100 %
令和3年度	インフルエンザ流行期において、県内約300医療機関のインフルエンザ受診患者数、県内すべての学校の休業状況を把握し、地図、グラフ等を用い、地域別の発生状況の詳細を毎日、ホームページ上に公表した。 指標① 目標：100 実績：100 達成率：100 %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 2	流行状況を迅速にかつ地域別に把握することで、流行地域に対して注意喚起を行う等、地域で必要な対策を行うことができる。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満) 	
(評価) 2	インフルエンザによる学校休業状況をお知らせするメールマガジンを配信しており、2万4千人以上の方に登録いただいている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 1	岐阜県医師会に委託することにより、医師会員のネットワークを通じて迅速に情報を入手することができる。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 県民が感染症の最新の流行状況を把握し、感染防止対策を行うために有用な情報発信を行っていることから、引き続き行っていく。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県民が感染症の最新の流行状況を把握し、感染防止対策を行うために有用な情報発信を行っており、継続すべき事業であるため引き続き行っていく。
--